

令和3年度(2021年度)第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 資料

日時:令和3年(2021年)11月11日(木) 13:00~15:00

場所: ZOOMにてオンライン開催

議事(案)

1. 第31回全国協議会(2021/12/3~5, 津)の企画について
2. 第95回学会(2022/5/25~28, 高知)の企画について
3. 今後の学会・協議会における企画案について
4. 新しい化学物質管理に関する産業衛生技術部会の役割について
5. 予算残高の適正化について
6. 各地方会からの報告事項
7. その他

資料

1. 第31回全国協議会(2021/12/3~5, 津)の企画について

- (1) 産業衛生技術シンポジウム (12/4(土)14:00~16:00, 小ホール)
テーマ:「テレワーク・在宅勤務における労働環境の問題と今後の課題」
座長: 中原浩彦(ENEOS)
演者: 齊藤宏之(労働安全衛生総合研究所), 榎原 毅(名古屋市立大学), 佐々木那津(東京大学)
※ 全国協議会側によるオンライン配信あり(ハイブリッド開催)
- (2) 産業衛生技術専門研修会 (12/4(土)17:30~19:30, レセプション)
テーマ:「労働現場の安全衛生活動推進に資する連携と協働~現場が動く, 現場を動かす, キーパーソンは衛生管理者~」(企画担当: 東海地方会)
座長: 北山 勉(北山労働安全衛生コンサルタント事務所), 榊原洋子(愛教大)
演者:
岡安 徹, 松本勇司(エフ・シー・シー)「化学物質管理活動における衛生管理者の役割(仮題)」
大場恵史(東海化学分析研究所):「作業環境測定機関の測定現場における環境改善提案事例(仮題)」
土山智之(名古屋大学客員研究員):「皮なめし工場の労働者の健康リスク調査(仮題)」
※ 全国協議会側によるオンライン配信なし。部会側にてオンライン配信(ハイブリッド開催)の予定。
- (3) 四部会合同シンポジウム (12/5(日) 9:30~11:30, 中ホール)
「変化する働き方における産業保健サービスの在り方」
※ 産業衛生技術部会より川上貴教氏(北大)が担当。オンライン配信あり。

2. 第95回学会(2022/5/25~28, 高知)の企画について

メインテーマ:「新しい時代の働き方と産業保健 持続可能な社会を目指して」

- (1) 産業衛生技術フォーラム

「自律的な化学物質管理への転換-学会および産業衛生技術部会は何をすべきか」(仮題)

座長: 橋本晴男(仮)

演者(予定):

- 1) 新たな化学物質管理の概要(伊藤昭好先生)
- 2) 技術部会として計画していることの概要紹介(中原浩彦先生)
- 3) 産業衛生技術専門家のコンピテンシー(原邦夫先生)
- 4) 海外の化学物質管理の紹介(持田伸幸先生)
- 5) 産業医からの視点(未定)

(2) 産業衛生技術専門研修会

「新しい時代の働き方—高齢労働者の安全衛生管理」(仮題)

座長: 宮内博幸(仮)

演者(予定): 松葉 斉先生(元・中災防), 乍 智之先生(JFE スチール), 横田直行先生(三井化学大牟田工場), 帆苅なおみ先生(サンデン・ビジメスアソシエイト)

(3) 拡大幹事会

※ 上記の内容にて, 10/9 付けで事務局(高知大・杉原先生)に回答済み。

3. 今後の学会・協議会における企画案の候補について

(1) 第 32 回全国協議会(札幌, 2022/9/29~10/1)

メインテーマ「連携と協働—職種, 組織の壁を超えて—」

(2) 第 96 回日本産業衛生学会(宇都宮, 2023/5)

ハイブリッドで開催予定。

※今後の企画案についての提案をお願いいたします。

(例) 企画運営委員会にて挙げられた企画案

- ・ 「労働衛生管理学」, マネジメントについて
- ・ 労働衛生における性別(ジェンダー)の問題(「差別」と「区別」)
- ・ 事務所則・ビル管法における照度などの基準変更
- ・ これからの管理体制の変化

4. 新しい化学物質管理に関する産業衛生技術部会の役割について

- ・ 5年後を目処に化学物質管理が自律的管理に移行することを受け, 技術部会(さらには産業衛生学会)として何をすべきか(何ができるか)を考える必要がある。

(詳細については別紙参照)

5. 予算残高の適正化について

- ・ Covid-19 の影響で当部会を含む学会全体で予算残高が多くなっているが, 公益財団法人として残高を適正範囲(年度末残金として 40 万円弱)に収める必要がある旨, 学会の四部会事務局より連絡あり。
- ・ 2022 年度末までに適正化を行う場合には年度内に 260 万円, 2023 年度末までに1年あたり 160 万円使用する必要がある(年度予算は 77 万円)。
- ・ 各地方会を含めた使途について検討して欲しい。

6. 各地方会からの報告事項

1) 北海道地方会より

- ・ 2021/9/22 に, 北海道地方会産業衛生技術部会, 日本作業環境測定協会北海道支部, 北海道産業保健総合支援センターとの共催で2021年度全国作業環境測定・評価推進運動 特別研修会を開催した。
- ・ 2021/10/23 に2021年度日本産業衛生学会北海道地方会を開催した。
- ・ 第32回全国協議会(札幌, 2022/9/29~10/1)の準備状況について

2) 東北地方会より

- ・ 2021/7/24 に第 80 回日本産業衛生学会東北地方会をハイブリッド開催した(メイン

テーマ:「ウィズコロナ時代の産業保健」。産業衛生技術部会として、神田晃先生(弘前大)より「健康と運動」をテーマに講演いただいた。

3) 関東地方会より

- ・ 2022/2/19(土)に第295回関東地方会例会を当番幹事として関東産業衛生技術部会の研修会と併せてオンライン開催する予定。
テーマ:「発がん分類の新しい動きー溶接ヒュームを含むー」
 - 1) 従来の発がん分類の経緯と実績(山野優子)
 - 2) IARCと産衛の発がん分類(動物実験,メカニズムから)(長野嘉介)
 - 3) 溶接ヒュームの発がん性評価(森本泰夫)
 - 4) 溶接ヒューム中の発がん性金属などの評価(鷹屋光俊)
- ・ 第96回学会について、2023年5月に栃木県宇都宮市(宇都宮コンベンションセンター)にてハイブリッド開催することに決定。

4) 東海地方会より

- ・ 2021/10/30に2021年度日本産業衛生学会東海地方会学会をZOOMにてオンライン開催した。
- ・ 第31回全国協議会(津,2021/12/3~5)の準備状況について

5) 近畿地方会より

- ・ 2021/10/23に第61回近畿産業衛生学会をZOOMウェビナーにてオンライン開催した。

6) 中国地方会より

- ・ 2021/10/1~10/31に、第4回中国地方会研究会をオンデマンド開催した。
- ・ 2021/11/20~21に第65回中国四国合同産業衛生学会をオンラインにて開催予定。

7) 四国地方会より

- ・ 2021/11/20~21に第65回中国四国合同産業衛生学会をオンラインにて開催予定。
- ・ 第95回学会(高知,2022/5/25~28)の準備状況について

8) 九州地方会より

- ・ 2021/10/23に九州地方会Web研修会2021をZOOMにて開催した。基調講演として、吉田哲先生(中災防)より「溶接ヒュームの管理について」、安全衛生専門家からの提言「今までの安全衛生活動を通して」として、4名の演者の講演をいただいた。
- ・ 2021/10/16に2021年度日本産業衛生学会九州地方会学会をハイブリッドにて開催した。産業衛生技術部会からは、東英憲先生(産業医大)より「労働衛生光学におけるエアロゾル濃度の計測と評価」の講演があった。

9) 北陸甲信越地方会より

- ・ 2021/10/31に第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会をハイブリッドにて開催した。

7. その他

- 1) 研究奨励賞候補の推薦のお願い
- 2) 大久保利晃産業保健研究奨励金の候補者について(×切:12/20)
- 3) 酒井CHS振興財団「2022年労働衛生研究助成」について(×切:11/30)
- 4) その他